

CHALLENGE CUP EXPRESS

チャレンジャーを応援する壁新聞

VOL.04 2014/12/12



教室探訪

チャレンジカップに取り組む教室を訪ねて

学校法人若松第一高等学校（福島県）

我が校の「見える化」!!

学校全体でチャレンジカップに参加して再発見、自分たちの「パワー」と「可能性」

チャレンジカップに参加することで得られる効果はたくさんあります。その中の一つに「今まで当たり前で気にも留めていなかった自分たちの良いところに気づく」ということがあります。チャレンジャー自身の頑張る姿活動

の尊さは、自分たちが気づいていないだけで、実は多くの人が見て評価してくれているもの。応援される、ほめてもらう、感謝されるといった周りの人との交流や、チャレンジカップでの入賞などを通じて、その驚きと喜び

を感じることができます。昨年初めてチャレンジカップに参加した若松第一高校もその醍醐味を経験した一校。「チャレンジカップに参加してよかった!」その思いが、今年のチャレンジの原動力の一つにもなっているそう

です。今年はよりパワーアップした若松第一高校、そのチャレンジ活動は「一高生」ならではのユニークなものが多数。学校の雰囲気もまた一段と活気に満ちあふれています。

★ From Challengers and Supporters ★

私達の学校の良いところをもっと知ってほしい! そんな気持ちから始めたチャレンジです。



チャレンジネーム「茶色いマフラー」のお二人とサポーター遠藤麻美先生



オープンスクールをもっと良くできるのでは?新しい試みを先生に提案!

学校のことをよく知ってもらうために、学校紹介のDVDを作り、オープンスクールで上映することにチャレンジ。今までのオープンスクールでも生徒のハンドベル演奏などがあり十分盛り上がりつつあったが、学校紹介のDVDがあればさらに良いのでは?と思ったのがきっかけ。オープンスクール担当の先生に相談し許可をもらい、1ヶ月で撮影から編集まで一気にいった。パソコン操作をサポーターの先生に学びながら、生徒会や校長先生の協力を得て、映像が完成。「みんなに見てもらった時には本当にワクワクしました」とチャレンジャーの二人。

チャレンジネーム「SHOCK EYE☆」



水泳部の部員を増やし水泳でリレーに挑戦したい!



水泳部の写真が掲載される日がくること楽しみです!

若松第一高校水泳部はかつて飛び込み競技で名を馳せていたが、現在の水泳部は彼女1名。なんとか部員を4人に増やしてリレーに出たい、とチャレンジを決めた。現在若松第一高校ホームページの部活紹介では、多くの部活が写真入りで掲載さ

れているが、水泳部は今現在、特設部として名称のみの掲載にとどまっている。部員が増え、競技で活躍する姿がいずれ写真とともに紹介される日がくることに期待!

他にもユニークなチャレンジが多数!



若松第一高校のみなさんのチャレンジは、非常にバラエティに富んだものばかり。学校で既に行っている活動とは全く違うユニークな活動がたくさん。生徒の皆さんの創造性豊かなチャレンジ目標には、サポーターの先生も驚かされているそうです。

- 【これはユニーク!】ヨーヨーの腕を磨いてヨーヨーパフォーマンスをするチャレンジ
- 【福島ならではの!】会津の良さを知ってもらうためにオリジナルのマップを作るチャレンジ
- 【自動車科がある学校ならではの!】父親と一緒に古いバイクを修理するチャレンジ
- 【部活で挑戦】今年創部のサッカー部、新人戦で全会津ベスト4を目指す、など多数

保護者や地域の方にもチャレンジ活動の様子をお知らせ



学校パンフレットや地元のミニコミ紙を通じて、チャレンジカップでの生徒の活躍を地域や保護者の皆さんに紹介。全国的な教育イベントへの参加ということで、反響も多いそうです。このような周りの皆さんからの声は、生徒のみなさんにとっても大きな励みになっています。